

2023年10月25日
SOMPOホールディングス株式会社
損害保険ジャパン株式会社
Robust Intelligence, Inc.

損保ジャパンとRobust Intelligenceが業務提携 ～A Iの信頼性確保に向けた大規模言語モデルのリスク評価と全社的なガバナンス体制の構築～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役代表執行役会長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）、損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）は、A Iの信頼性確保に向けたガイドラインの策定とリスク管理体制の構築のため、Robust Intelligence, Inc.（米国、CEO Yaron Singer/Co-founder Kojin Oshiba、以下「Robust Intelligence 社」）と業務提携を行い、2023年8月から生成A Iを活用した業務システムのリスク評価テストを開始しました。

1. 提携の背景・目的

現代社会におけるA I技術の進歩は目覚ましく、生活者や企業活動における生産性の向上や意思決定スピードの強化などさまざまな好影響をもたらしています。

一方で、A Iにおける品質や倫理、セキュリティといったさまざまな観点での課題に対する理解と対策が求められており、A Iサービスの開発者および提供者は第三者による評価を取り入れることでリスクを適切に管理し、利用者に対する透明性を確保する必要性が高まっています。

損保ジャパンは「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」することを経営理念に掲げ、その実現のため生成A Iや音声認証、画像認識といった最先端のA I技術を活用してさまざまな事業展開を進めています。

そのため、損保ジャパンはEnd-to-EndのA Iリスク管理ソリューションを提供するRobust Intelligence社と共にA Iの信頼性確保の実現を目指します。具体的には、A Iが持つリスクを第三者の視点を入れて継続的に評価し、それらを適切に管理する方法を作り上げることで、安全で信頼性の高いサービス提供を実現します。さらに、A Iの利用が広範囲に及ぶ現代社会において、SOMPOグループ全体においても公正で透明なA Iガバナンスの構築を目指します。

2. 取組みの概要

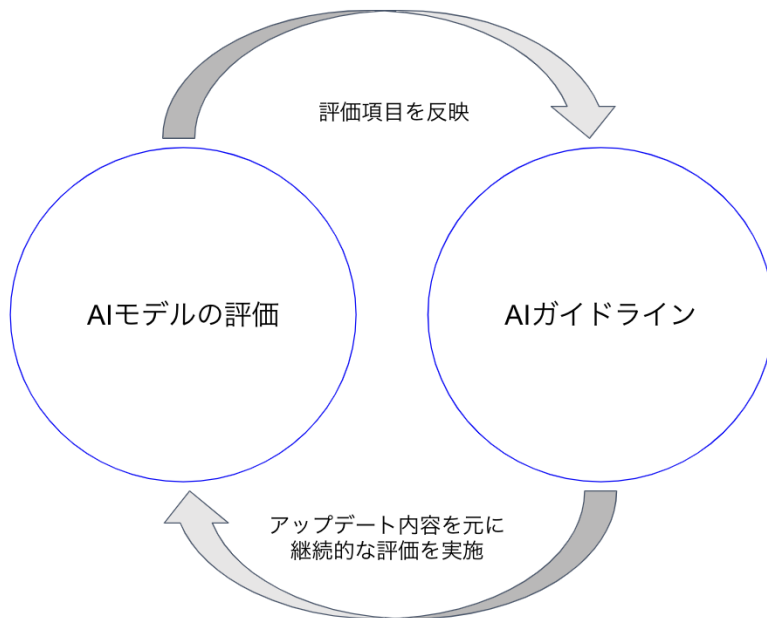
現在、損保ジャパンでは大規模言語モデルを組み込んだ社内照会システムを開発中です。

システムの性能向上のため、同システムで採用している生成A Iモデルに対して Robust Intelligence社が提供するプラットフォームを活用し、品質・倫理・セキュリティなどさまざまな観点から設計された多数のテストによるリスク評価を行いました。

評価結果とRobust Intelligence社による分析を通して、生成A Iモデルの出力結果の正確性向上のための具体的な対策の検討や、同システムの挙動の特性を踏まえた適切な利用ルールの策定における観点の整理を迅速に行うことができました。

今回のリスク評価の結果は同システムの改善に活かされるだけでなく、SOMPOグループ全社への展開を見据えたA Iガイドライン策定にも活用されます。実際に活用しているA Iモデルのテスト結果をA Iガイドラインに反映させることで、より実効性のあるガイドラインの策定・改定につながり、「テスト→評価→評価項目の反映→テスト」というサイクルを回すことでアジャイルなA Iガバナンスの構築を実現できると考えています。

アジャイルなA I ガバナンスサイクルのイメージ



3. 今後について

A I 技術の進化と共に、その適切な利用とリスク評価がますます重要となっています。

SOMPOホールディングスと損保ジャパンは、リスクを最小限に抑えた上で、先端技術の恩恵を社会全体に広げることで、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」というSOMPOのパーパス実現に向けて、取り組んでいきます。

【参考：Robust Intelligence社について】

会社名 : Robust Intelligence, Inc.
代表者 : CEO Yaron Singer
所在地 : 555 19th Street San Francisco, CA 94107 U.S.A
設立年月日 : 2019年3月

以上